

## 法学部の教育課程の編成及び実施に関する方針

法学部は、法学部ディプロマ・ポリシーに適う人材を養成するため、4年間を通じて、共通科目領域、総合科目・体育実技科目領域、外国語領域、法律学科、政治経済学科、新聞学科、経営法学科及び公共政策学科の体系的なカリキュラムを編成し実施する。

また、各科目における教育内容・方法、成績評価方法及び評価基準をシラバス等で明示し、学生に周知した上で、実施する授業形態に即し、公正かつ厳正に評価を行う。

### 共通科目領域カリキュラム・ポリシー

法学部 ディプロマ ・ポリシー (DP)	コンピテンス	コンピテンシー	法学部 カリキュラム ・ポリシー (CP)	共通科目領域カリキュラム・ポリシー	共通科目〔学年〕
<自ら学ぶ>					
DP1	豊かな教養・ 知識に基づく 高い倫理観	社会人たるに必要な 教養と社会科学の知 識を修得し、法令遵 守の精神と高い倫理 観に基づいて、自ら の使命・役割を果た すことができる。	CP1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多種多様な「知の技法」に習熟し、それらを駆使しながら、高度な教養・社会科学の学修を遂行し、法令遵守の精神や高い倫理観を涵養し、自分の使命・役割を探究することができる。</li> </ul>	すべての共通科目

DP2	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	日本及び世界の法、政治、行政、経済及びジャーナリズムのしくみと、それが直面している問題を理解し、説明することができる。	CP2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本大学の歴史を知り、本学が世界の中で有するユニークな使命・役割を基点として、日本および世界における法、政治、行政、経済及びジャーナリズムのしくみや諸問題を幅広く見渡し、説明することができる。</li> </ul>	日本大学の歴史〔1年〕
<自ら考える>					
DP3	論理的・批判的思考力	社会通念をふまえ、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	CP3	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 論理的・科学的・合理的・批判的考察の重要性や仕方を理解・習得し、社会通念をふまえつつこれらの思考力を活かし、文章作成や口頭発表によって新たな「知」の創造に挑むことができる。</li> </ul>	自主創造の基礎Ⅰ・Ⅱ〔1年〕， 共通科目特論A～D〔1年〕
DP4	問題発見・解決力	社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的にコミットする中で、事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	CP4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題解決型思考力の大切さやその思考力を社会で活かす技法を修得し、今日の社会・共同体の諸問題への解決策を自ら考案しながら、社会人として社会活動に積極的に参加することができる。</li> </ul>	自主創造の基礎Ⅰ・Ⅱ〔1年〕， 共通科目特論A～D〔1年〕
<自ら道をひらく>					

DP5	挑戦力	法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	CP5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理想的な社会へのビジョンを持つことの大切さや、自分の専門知識の活かし方、未知のものに向かって一步を踏み出す勇気などといったものを考慮に入れて、自分自身のキャリアを設計・計画していくことができる。</li> </ul>	社会貢献〔1年〕，インターンシップA・B〔3年〕
DP6	コミュニケーション力	多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質，感性及び価値観を理解・尊重し，社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し，自らの考えを伝えることができる。	CP6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最新のコンピュータ・リテラシーを活用する技法を修得して積極的に国内外の人々とコミュニケーションし，自分とは異なる気質や感性，価値観を有する他者の考えや立場を理解・尊重しつつ，自らの考えを伝えることができる。</li> </ul>	コンピュータ・リテラシーA・B〔1年〕
DP7	リーダーシップ・協働力	社会・共同体のさまざまな活動において，より良い成果を上げるために，お互いを尊重し，自らすすんで協働するとともに，リーダーとし	CP7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期的なキャリア・プラン作成において自ら決定していく力を発揮するとともに，そのプランや科目の履修等によって得たビジョンにそって，より良い社会・共同体の建設のために率先して行動することができる。</li> </ul>	キャリア入門〔1年〕，社会貢献〔1年〕，日本国憲法〔1年〕，キャリア・デザインA・B〔2年〕，キャリア・デベロップメントA・B〔2年〕

		て協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。			
DP8	省察力	他者による評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社会・共同体の創造に貢献することができたかを振り返ることにより、生涯にわたり、社会人としての自己を高めることができる。	CP8	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーガルマインドの研鑽に絶えず励むとともに、社会等が抱える諸問題を認識し解決するには、他者の提言や批判を謙虚に受け止める必要があることを理解し、より良い社会・共同体の創造のためにそれらの提言や批判を活かすことができる。</li> </ul>	自主創造の基礎 I・II〔1年〕， 共通科目特論 A～D〔1年〕

共通科目領域 学年（段階）ごとの目標

年次	目標
1年次 《1段階》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学での学び方を身につけ、豊かで実りある大学生活を送ることができる。</li> <li>・「キャリア」や「生き方」, 「働くこと」についての認識をすることができる。</li> </ul>
2年次 《2段階》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済・経営・産業・職業・仕事の実態や, 「キャリア」ないしは「キャリア・デザイン」の基礎を理解し, 説明することができる。</li> </ul>
3年次 《3段階》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働市場や就職活動, 社会が求める人材, 働くことに関する理解を深めるとともに, 自分の将来のキャリア・デザインを具体的に考え, そのデザインに沿ったキャリア選択活動を開始することができる。</li> </ul>
4年次 《4段階》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア選択の本格的な実践力や, 社会に出るための基礎的な技能を身につけ, これを活かすことができる。</li> </ul>